

平成 29 年度シマフクロウ傷病個体收容結果

表 1 平成 6～29 年度シマフクロウ傷病個体收容結果（平成 30 年 3 月 31 日時点）

年度 (平成)	交通事故	感電事故	羅網	溺死	捕食・襲撃	標識調査時 收容	不明	その他	(件)		收容個体数 (羽)
									死体	生体	
6			1			2	2		2	3	5
7	1					2		2	3	2	5
8						2	1		1	2	3
9	2	1		1	1	2		1	4	4	8
10	2		2						1	3	4
11	1		1	1		1	1		4	1	5
12	1		1			1				3	3
13	3				1		2		5	1	6
14		1	3			1	1		3	3	6
15	1							1	2		2
16	1	1	1	1	1		4		9		9
17	2				1	1	1		2	3	5
18		1			2			1	4		4
19	2	2	2		1				3	4	7
20	1	1	1	1		2			5	1	6
21	2		1					1	3	1	4
22	3	2			2			1	4	4	8
23	1			2	1	1	2	3	5	5	10
24		1		2	1		2		6		6
25	1		1		2	2	2	1	6	3	9
26	1				1		1	1	3	1	4
27	3				1	2			5	1	6
28		1			1	1	2		5		5
29								1	1		1
計	28	11	14	8	16	20	21	13	86	45	131

※1 表中のデータはシマフクロウ保護増殖事業計画が策定された翌年の平成6年度からとした。

※2 「標識調査時收容」は、標識調査時に生育に異常が見られた個体又は死体を收容したもの。ただし、キツネ等他の動物に襲われたと考えられるものは捕食・襲撃に分類した。

※3 「その他」としては、栄養不良、トラバサミ、電柱の金具に引っかかる、集合煙突内に侵入、他のシマフクロウによる襲撃などがある。

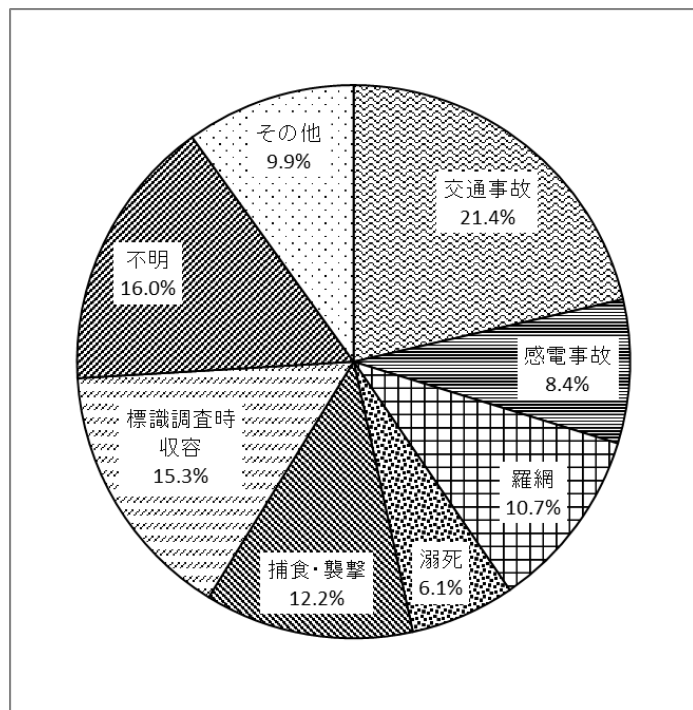


図1 シマフクロウ収容原因別割合 (H6-29 年度)

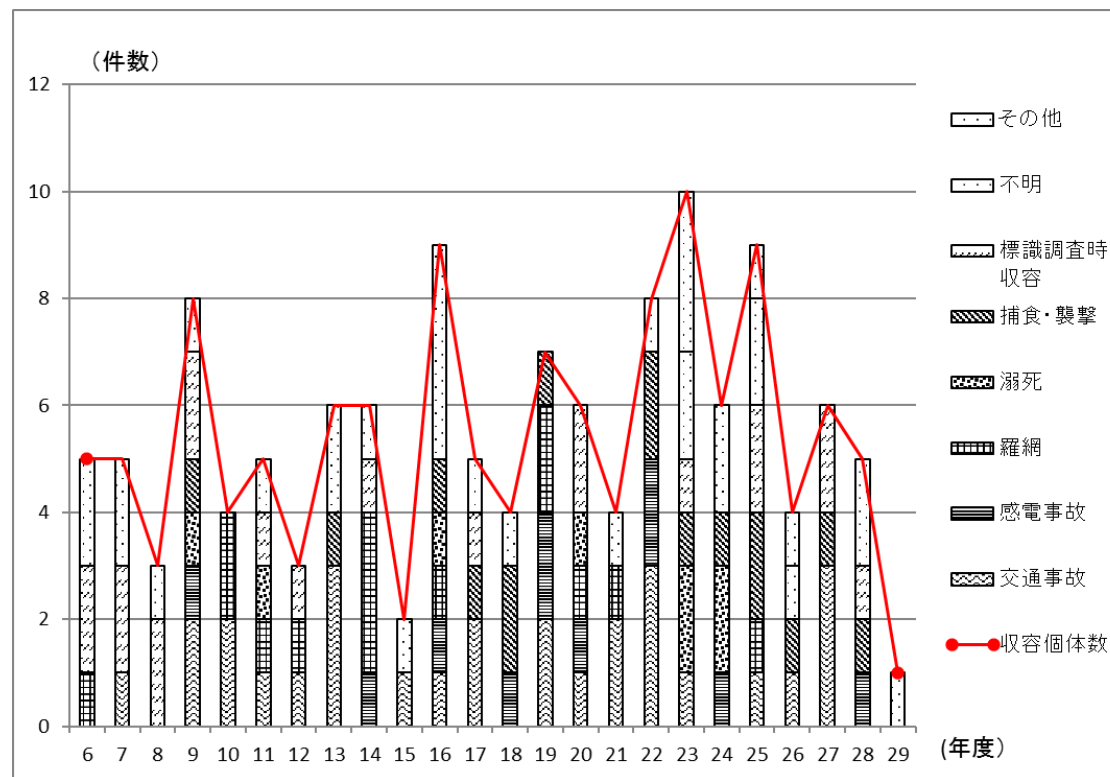


図2 シマフクロウ年度別収容件数 (H6-29 年度)